

第3次伊那市男女共同参画計画 アクションプラン一覧

	施策の柱	推進項目	活動指標	現状 (H29.3.31現在)	目標値 (R3年度)	年度末 現状値		担当課・係	
						令和2年度 (見込)			
1	1 あらゆる分野における女性の活躍	①政策・方針決定過程への女性の参画の拡大	市職員の課長級以上職員に占める女性の割合	5.2%	10.0%	5.1%		総務課 職員係	
2			市の審議会等委員に占める女性の割合	25.4% (H28.4.1現在)	30%	27.6%		企画政策課 人権男女共同参画係	
3			地区役員の女性登用の割合	9.1% (H29.1現在)	20.0%	10.2%		企画政策課 人権男女共同参画係	
4		②雇用の場における男女の均等な機会・待遇の確保と働きやすい環境づくり	伊那市企業人権教育推進連絡会加盟企業数 長野県が推進する「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証企業数	53社	66社 5社	3社		商工振興課 商業労政係	
5			市内企業における従業員女性割合	45.3% (H26経済センサス)	50.0%	44%		商工振興課 商業労政係	
6			未満児保育受入数	567人	655 560人	632人		子育て支援課 保育係	
7			学童クラブ利用者数	579人	670 630人	657人		生涯学習課 青少年係	
8		③農林業、商工業等の自営業における女性の参画促進	女性事業主の割合	11.9% (H26経済センサス)	15.0%	12.1%		商工振興課 商業労政係	
9			家族経営協定の締結数	90組	97 100組	94組		農業委員会事務局	
10			新規女性林業者数	0人	3人	1人		耕地林務課 林務係	
11			狩猟免許取得女性者数	3人	5人	0人		耕地林務課 林務係	
12			女性人材バンクの登録数	35人	40人	34人		企画政策課 人権男女共同参画係	
13		④男女の仕事と生活の調和	ワークライフバランスに関する市民向けセミナー数	2回	3回	2回		企画政策課 人権男女共同参画係	
14			育児休業、介護休暇の利用しやすい環境づくりについて、企業への働きかけ	新規設定	140 130社	239社		商工振興課 商業労政係	
15	2 男女共同参画社会の土台づくり	①地域社会での男女共同参画の促進	男女共同参画に関する講演会(伊那市民のつどい)への参加者数	102人	140人	—		企画政策課 人権男女共同参画係	
16			イ〜ナ介護なんでも相談所の設置数	28か所	35か所	35か所		福祉相談課 相談支援係	
17		②男女共同参画推進に向けた教育・学習の充実	保育士の男女共同参画に関する研修受講回数	1回	1回	1回		子育て支援課 保育係	
18			将来地元に戻ってきたいと希望する中学生の割合	新規設定	56%	—		学校教育課 学務係	
19			男女共同参画に関する講演会(伊那市民のつどい)への参加者数(再掲)	102人	140人	—		企画政策課 人権男女共同参画係	
20		③男性にとつての男女共同参画の推進	「イクボス・温かボス宣言」する市内企業・団体の数	1団体	20団体	14団体		企画政策課 人権男女共同参画係	
21			両親学級への夫の参加率(実人員参加率)	81.6%	90 82%	90.8%		健康推進課 保健係	
22			育児休業、介護休暇の利用しやすい環境づくりについて、企業への働きかけ(再掲)	新規設定	130社	239社		商工振興課 商業労政係	
23		3 安心・安全の暮らしの実現	①男女共同参画の視点に立った防災体制づくり	防災会議の女性委員の割合	5.7%	30%	11.4%		危機管理課 防災係
24				女性防災士の数	7名	13名	8名		危機管理課 防災係
25	防災に関する講座の女性参加者割合			新規設定	40%	42.4%		危機管理課 防災係	
26	②困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備		ひとり親家庭等自立支援事業利用者数	6人	6人	5人		子育て支援課 子育て支援係	
27			市内企業の正規雇用率	63.2% (H26経済センサス)	70.0%	61.7%		商工振興課 商業労政係	
28			福祉サービス等利用計画の作成率	100%	100%	100%		社会福祉課 障害者係	
29			認知症サポーター登録数	5,780人	6,500人	6,915人		福祉相談課 相談支援係	
30	③あらゆる暴力の根絶		女性相談員等のDV研修等受講回数	7回	10回	2回		企画政策課 人権男女共同参画係	
31			DVや虐待について、市に相談する窓口があることを知っている人の割合	新規設定	80%	49.3%		企画政策課 人権男女共同参画係	
32	④生涯を通じた男女の健康支援		がん検診受診率	乳がん検診40.1% 子宮がん検診26.1%	乳がん検診50% 子宮がん検診30%	乳がん検診38% 子宮がん検診24% 前立腺がん21%		健康推進課 保健係	
33			特定健診受診率・特定保健指導実施率	受診率 51% 実施率 84%	受診率 60% 実施率 90%	受診率 55.4% 実施率 86.4%		健康推進課 保健係	

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

1

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		①政策・方針決定過程への女性の参画の拡大				
活動指標		市職員の課長級以上職員に占める女性の割合				
現状 (H29.3.31現在)	5.2%	目標値(R3年度)				10%
* 現状値の補足 女性の課長級以上職員 3人 / 課長級以上職員 58人 (社協事務局長除く)						
取組内容		女性活躍推進法による特定事業主行動計画に定める各種計画の実行及び実施状況の公表 女性職員を主な対象とした研修の開催 昇格候補者試験の積極的な受験を促進				
年度別計画	H29	女性キャリアアップ研修の実施 昇格候補者試験の積極的な受験を促進				
	H30	昇格候補者試験及び昇格のあり方を検討 昇格候補者試験の積極的な受験を促進				
	R1	昇格候補者試験のあり方を検討 昇格候補者試験の積極的な受験を促進				
	R2	昇格候補者試験の積極的な受験を促進(受験者数32人中女性14人) 女性職員の意識改革のため、女性活躍推進の研修に参加 →研修センター「係長研修」に参加予定だったがコロナにより中止				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%
年度末現状値		6.5%	3.5%	6.8%	5.1%	
* 年度末現状値の補足		女性の課長級以上職員 3人 / 課長級以上職員 59人				
		総務課・職員係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

2

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		①政策・方針決定過程への女性の参画の拡大				
活動指標		市の審議会等委員に占める女性の割合				
現状 (H29.3.31現在)	25.4% (H28.4.1現在)	目標値(R3年度)	30%			
* 現状値の補足 委員総数982名 うち女性249名 (地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査)						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> 女性の視点を取り入れられるよう、審議会の体制や委員構成の見直しを行うよう働きかける。 女性人材バンクや「男と女ネットワーク協議会」からの委員選出に協力する。 				
年度別計画	H29	各課にあてて、目標値の再認識と、女性委員登用への配慮を依頼する。 *5月16日付通知を发出				
	H30	特に女性割合の少ない審議会等については、担当課に直接配慮を依頼する。				
	R1	特に女性割合の少ない審議会等については、担当課へ次回選出時の配慮を依頼した。				
	R2	割合が30%に達していない審議会等については、担当課へ次回改選時に向け、構成や委員の選任方法について見直しを依頼する。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		26%	27 29%	28 29%	29 30%	30%
年度末現状値		28.7%	27.5%	27.5%	27.6%	
* 年度末現状値の補足		委員総数1,321名 うち女性365名 (R2年度地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査)				
		企画政策課・人権男女共同参画係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

3

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		①政策・方針決定過程への女性の参画の拡大				
活動指標		地区役員の女性登用の割合				
現状 (H29.3.31現在)	9.1% (H29.1現在)	目標値(R3年度)		20%		
* 現状値の補足 区、公民館、地区社会福祉協議会 役員総数2100人 うち女性191人						
取組内容		・区長会において女性登用状況に関する調査を依頼するとともに、女性登用推進の啓発を行う。				
年度別計画	H29	・「市民のつどい」において防災の観点から地域での女性の意見の反映の重要性を伝えていく				
	H30	・地区の役員選考が始まる時期前に、各区長に女性登用推進依頼通知を出す。				
	R1	・女性役員の積極的な登用を区長に依頼していく。女性の意見を反映出来るような組織運営についてお願いしていく。				
	R2	・地区役員等の女性登用状況調査を区長に依頼し、組織運営に女性登用の必要性を伝えていく。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		11%	13%	15%	17%	20%
年度末現状値		9.3%	9.4%	9.4%	10.2%	
* 年度末現状値の補足		区、公民館、地区社会福祉協議会 役員総数2,064人 うち女性210人				
		企画政策課・人権男女共同参画係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

4

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		②雇用の場における男女の均等な機会・待遇の確保と働きやすい環境づくり				
活動指標		伊那市企業人権教育推進連絡会加盟企業数 長野県が推進する「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証企業数				
現状 (H29.3.31現在)	53社	目標値(R3年度)		65	70社	
現状 (R2.2.12現在)	3社			5社		
* 現状値の補足 伊那市企業人権教育推進連絡会加盟企業数(H29.5.31現在) 長野県「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証企業数(R2.2.12現在)						
取組内容		上伊那地方企業人権教育推進連絡協議会との連携により、男女差別解消に向けた企業人権セミナーの開催など、事業主をはじめ企業全体で人権に関する意識の向上を図っている。 市内企業の訪問により、仕事と家庭の両立ができる職場環境の改善や雇用の安定など、従業員がいきいきと働き続けられるような働き方の制度導入について働きかけを行う。				
年度別計画	H29	・企業人権教育推進研修会の開催・参加。 ・長野県企業人権セミナーへの参加(呼びかけ)。				
	H30	・企業人権教育推進研修会の開催・参加。 ・長野県企業人権セミナーへの参加(呼びかけ)。 ・伊那市との共催によるLGBTに対する理解を深めるための研修会の開催(呼びかけ)				
	R1	・企業人権教育推進研修会の開催・参加。 ・長野県企業人権セミナーへの参加(呼びかけ)。 ・市主催による企業人権に関する講演会の開催				
	R2	・企業人権教育推進研修会の開催・参加 ・ワークライフバランス等の職場環境の改善パンフレットの企業への配布				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		56社	60社55社	63社57社	67社60社 4社	70社65社 5社
年度末現状値		53社	53社	53社3社	3社	
* 年度末現状値の補足		伊那市企業人権教育推進連絡会加盟企業数(R2.1.31現在) ※連絡会はR3.3.31をもって解散予定				
		商工振興課・商業労政係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

5

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		②雇用の場における男女の均等な機会・待遇の確保と働きやすい環境づくり				
活動指標		市内企業における従業員女性割合				
現状 (H29.3.31現在)	45.3% (H26経済センサス)	目標値(R3年度)	50%			
* 現状値の補足 市内民営事業所の常用雇用者のうち、女性従業員の割合(H26経済センサスより) 女性従業者数13,250人／全体の従業者数29,249人						
取組内容		伊那市企業人権教育推進連絡協議会の活動を通じ、市内企業の訪問により、女性が仕事と家庭生活を両立できる多種多様な働き方が選択できるよう職場環境の改善に向けた啓発に取り組む。				
年度別計画	H29	企業訪問による啓発活動				
	H30	企業訪問による啓発活動				
	R1	企業訪問による啓発活動				
	R2	企業へのパンフレット配布や、メールによる啓発活動				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		46%	47%	48%	49%	50%
年度末現状値		44%	44%	44%	44%	
* 年度末現状値の補足		女性従業者数12,462人／全体の従業者数28,321人 (H28経済センサスの結果より)				
		商工振興課・商業労政係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

6

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		②雇用の場における男女の均等な機会・待遇の確保と働きやすい環境づくり				
活動指標		未満児保育受入数				
現状 (H29.3.31現在)	567人	目標値(R3年度)	655 560人			
* 現状値の補足 公立・私立合計数 年度毎の保育士の確保状況(受入態勢)により変化						
取組内容		受け入れ態勢の整備 ・非常勤保育士の確保 ・部屋の確保				
年度別計画	H29	県内保育専門学校へのPR訪問 ハローワーク等関係機関への登録・広報				
	H30	県内保育専門学校へのPR訪問 ハローワーク等関係機関への登録・広報 市報、有線等の媒体を利用したPR 現場保育士全員による知人声掛け				
	R1	県内保育専門学校へのPR訪問 ハローワーク等関係機関への登録・広報 市報、有線等の媒体を利用したPR 現場保育士全員による知人声掛け				
	R2	県内保育専門学校へのPR訪問 ハローワーク等関係機関への登録・広報 市報、有線等の媒体を利用したPR 現場保育士全員による知人声掛け				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		598人	579人	560人	646 560人	655 560人
年度末現状値		553人	601人	625 605人	632	
* 年度末現状値の補足		R3.3.31現在の実績				
		子育て支援課・保育係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

7

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		②雇用の場における男女の均等な機会・待遇の確保と働きやすい環境づくり				
活動指標		学童クラブ利用者数				
現状 (H29.3.31現在)	579人	目標値(R3年度)		670 630人		
<p>* 現状値の補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度 4月1日現在登録児童数 621人 (平成28年 4月1時点 582人, 平成27年 4月1日時点 528人) 登録指導員数 平成29年5月1日現在 36人 (平成28年度 34人、平成27年度 31人) 						
取組内容		放課後帰宅しても保護者が不在の小学生児童を預かり、子どもたちに安全な居場所の提供と保育を行うことで、保護者の就労支援を目的としている。				
年度別計画	H29	西箕輪小学童クラブの改築工事。発達障害児の受け入れについて協力支援のあり方を検討する。				
	H30	障害児等の受け入れについて、協力支援のあり方を検討。施設整備計画の検討、利用時間及び利用料の見直し検討を行った。				
	R1	高遠小学童クラブの改築工事。障害児等の受け入れについて、協力支援のあり方検討。				
	R2	西春近北小学童クラブの改修工事。施設整備計画の検討。支援児童等への関係部署等との調整。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		600人	600人	610人	670 620人	670 630人
年度末現状値		621人	631人	673人	657	
* 年度末現状値の補足		年度末利用登録者数				
		生涯学習課・青少年係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

8

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		③農林業、商工業等の自営業における女性の参画促進				
活動指標		女性事業主の割合				
現状 (H29.3.31現在)	11.9% (H26経済センサス)	目標値(R3年度)		15%		
* 現状値の補足 市内民営事業所の従業者のうち、女性の個人事業主の割合(H26経済センサスより) 女性事業主422人／市内事業所数3,546人						
取組内容		商工団体が開催する「創業スクール」など起業希望者向けのセミナーを支援するとともに、起業に対する支援制度の周知・活用の推進を図る。				
年度別計画	H29	・「創業スクール」「創業塾」の開催 ・創業向け助成制度の周知				
	H30	・「創業スクール」「創業塾」の開催 ・創業向け助成制度の周知 ・女性向け起業・創業セミナーの開催				
	R1	・「創業スクール」「創業塾」の開催 ・創業向け助成制度の周知 ・女性向け起業・創業セミナーの開催				
	R2	・「創業スクール」「創業塾」の開催 ・創業向け助成制度の周知 ・女性向け企業・創業セミナーの開催				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		12%	13%	14%	14.5%	15%
年度末現状値		12.1%	12.1%	12.1%	12.1%	
* 年度末現状値の補足		女性事業主410人／市内事業所数3,401人 (H28経済センサスの結果より)				
		商工振興課・商業労政係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

9

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		③農林業、商工業等の自営業における女性の参画促進				
活動指標		家族経営協定の締結数				
現状 (H29.3.31現在)	90組	目標値(R3年度)	95 100組			
* 現状値の補足 締結農家数 93組						
取組内容		新規就農者の家族を中心に「家族経営協定」制度のメリットを説明し、締結を呼びかける。				
年度別計画	H29	学習会を開催し、対象家族に理解を深めてもらい、締結に繋げる。				
	H30	学習会を開催し、対象家族に理解を深めてもらい、締結に繋げる。 ※学習会は開催しなかったが、対象家庭に制度内容や協定のメリットを案内する通知を送付した。				
	R1	学習会を開催し、対象家族に理解を深めてもらい、締結に繋げる。				
	R2	学習会を開催し、対象家族に理解を深めてもらい、締結に繋げる。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		92組	94組	96組	95組98組	97組100組
年度末現状値		90組	93組	93組	94組	
* 年度末現状値の補足		家族経営協定を締結した家族の延べ数				
		農業委員会事務局				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

10

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		③農林業、商工業等の自営業における女性の参画促進				
活動指標		新規女性林業者数				
現状 (H29.3.31現在)	0人	目標値(R3年度)	3人			
* 現状値の補足 女性林業者数0人						
取組内容		・林業事業体に働きかけるとともに、信州大学等の学生に対して林業の魅力を発信していく。				
年度別計画	H29	林業へ関心を持ってもらえるようなイベントを検討する。				
	H30	林業イベントへ女性が参加してもらえるよう創意工夫するとともにPRに力をいれる。				
	R1	女性が参加したくなる魅力ある林業イベントの企画とPRに力をいれる。				
	R2	学生が参加できるイベント等の開催や信州大学の先生と通じて学生へのPRを行う。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		0人	1人 0人	2人 3人	3人	3人
年度末現状値		0人	1人 2人	2人 1人	1人	
* 年度末現状値の補足		県認定事業体に就業した女性数 各種林業イベントは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止または、縮小した。				
		耕地林務課・林務係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

11

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		③農林業、商工業等の自営業における女性の参画促進				
活動指標		狩猟免許取得女性者数				
現状 (H29.3.31現在)	3人	目標値(R3年度)	5人			
* 現状値の補足 女性取得者数3人／総取得者数 212人						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・女性会員を増やすよう猟友会に働きかける。 ・狩猟に関心を持ってもらえるよう、林業イベント等でPRを行う。 				
年度別計画	H29	防鹿柵設置時等に女性の参加者を増やし、狩猟にも関心を持ってもらえるようPRする。				
	H30	森林イベント等でポスター掲示をするとともにPRを行っていく。				
	R1	防鹿柵設置時等に女性の参加者を増やすと共に、森林イベント等でPRを行っていく。				
	R2	猟友会のポスター掲示や森林イベントでの啓発を行っていく。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		3人	3人	3人 4人	4人	5人
年度末現状値		2人 1人	2人 1人	1人 3人	0人	
* 年度末現状値の補足		猟友会員数 201人 ポスター掲示等啓発は行ってるが、更新や新規登録する女性がいらない。				
		耕地林務課・林務係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

12

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		③農林業、商工業等の自営業における女性の参画促進				
活動指標		女性人材バンクの登録数				
現状 (H29.3.31現在)	35人	目標値(R3年度)	40人			
* 現状値の補足 平成28年度末 登録者数						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・商工業・農林業などの様々な分野における人材の掘り起しを行い登録を推進する。 ・登録者の経験や技術を活かす仕組みを作る。 				
年度別計画	H29	・登録者の経験を活かす機会(セミナー等)を行なう。				
	H30	・伊那商工会議所、JA上伊那など通じた登録推進を行う。				
	R1	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那商工会議所、JA上伊那など通じた登録推進を行う。 ・市の関連業務から人材の掘り起しができないかを各課へ照会する。 				
	R2	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那商工会議所、JA上伊那など通じた登録推進を行う。 ・女性人材バンク登録者の意見を聞く機会を設け、新規登録者の紹介など人材の掘り起こしに協力を依頼する。 				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		36人	37人	38人	39人	40人
年度末現状値		34人	34人	34人	34人	
* 年度末現状値の補足		新規登録なし。女性団体等へ呼びかけたが新規登録に結び付けられなかった。				
		企画政策課・人権男女共同参画係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

13

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		④男女の仕事と生活の調和				
活動指標		ワークライフバランスに関する市民向けセミナー数				
現状 (H29.3.31現在)	2回	目標値(R3年度)	3回			
* 現状値の補足 平成28年度 市民のつどい 1回 いきいきセミナー 1回						
取組内容		・ワークライフバランスについて考える契機となるセミナーを開催する。				
年度別計画	H29	・いきいきセミナーにおいて2回開催				
	H30	・市民のつどい 1回 いきいきセミナー2回 女性活躍推進のための女性交流会での研究				
	R1	・市民のつどい 1回 いきいきセミナー2回 ・女性活躍推進のための管理職研修会及び女性交流会の開催				
	R2	・新型コロナウイルス感染防止から、多くの人を集めるイベントの開催が計画出来ないため、市報やケーブルテレビ等を活用しワーク・ライフ・バランスについて周知する。 ・伊那商工会議所と連携して、女性活躍推進事業を行う。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		2回	3回	3回	3回	3回
年度末現状値		2回	3回	5回	2回	
* 年度末現状値の補足		・市民のつどい 1回→中止 いきいきセミナー 2回→セミナーの開催に代えて女性団体の代表参加の学習会を2回開催した。 ・女性活躍推進管理職向け研修及び女性交流会の開催→中止				
		企画政策課・人権男女共同参画係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

14

施策の柱		1 あらゆる分野における女性の活躍				
推進項目		④男女の仕事と生活の調和				
活動指標		育児休業、介護休暇の利用しやすい環境づくりについて、企業への働きかけ				
現状 (H29.3.31現在)	新規設定	目標値(R3年度)	140 130社			
* 現状値の補足 新規設定(現状値なし)						
取組内容		部長級職員の市内企業の訪問により、育児休業、介護休暇への理解など「働き続けやすい」職場環境の整備について、働きかけを行う。				
年度別計画	H29	企業訪問の実施(143社)				
	H30	企業訪問の実施(136社)				
	R1	企業訪問の実施(142社)				
	R2	新型コロナウイルス感染防止のため、パンフレット等配布の実施(239社)				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		130社	130社	130社	140 130社	140 130社
年度末現状値		143社	136社	142社	239社	
* 年度末現状値の補足		R2市内事業所 パンフレット等配付件数 企業訪問を予定していた企業以外にも広く配布した。				
		商工振興課・商業労政係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

15

施策の柱		2 男女共同参画社会の土台づくり				
推進項目		①地域社会での男女共同参画の促進				
活動指標		男女共同参画に関する講演会(伊那市民のつどい)への参加者数				
現状 (H29.3.31現在)	102人	目標値(R3年度)	140人			
* 現状値の補足 平成28年度参加者数						
取組内容		・男女共同参画について考える場の1つとして、多くの市民の興味をひく「市民のつどい」を開催する。				
年度別計画	H29	・防災に注目した講演を開催し、広報を工夫し参加者を獲得する。				
	H30	・男性の育児・家事推進のための講演会を開催し、子育て世代の参加を見込む				
	R1	・認知症の患者を抱えた家族の内側を描いたドキュメンタリー映画を上映し、地域社会で暮らし続ける意義を男女共同参画の観点から考える機会となるよう多くの参加者を募る。				
	R2	・新型コロナウイルス感染防止から多くの人を集めるイベントの開催が計画出来ないため、市報やケーブルテレビ等を活用し男女共同参画を推進していく。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		140人	140人	140人	140人	140人
年度末現状値		90人	40人	120人	—	
* 年度末現状値の補足		令和2年度男女共同参画社会をめざす伊那市民のつどいは中止した。 男女共同参画の啓発は、市報、おでかけ講座等を利用した推進活動をおこなった。				
		企画政策課・人権男女共同参画係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

16

施策の柱		2 男女共同参画社会の土台づくり				
推進項目		①地域社会での男女共同参画の促進				
活動指標		イ～ナ介護なんでも相談所の設置数				
現状 (H29.3.31現在)	28か所	目標値(R3年度)	35か所			
* 現状値の補足 H28年度から取組 介護保険の地域密着型事業所を中心に設置し、のぼり旗を配布						
取組内容		高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を維持していくことができるように、男女を問わずだれもが身近なところで気軽に福祉・健康・介護などの生活の中で困っていることを相談出来る窓口を増やす。さらに、寄せられた相談内容から、行政と地域が連携して、地域での暮らしを支える仕組みづくり、地域力の向上を目指す。				
年度別計画	H29	市報、ケーブルTVで「イ～ナ介護なんでも相談所」についてPR				
	H30	男女を問わず気軽に相談でき、地域での暮らしを支えられる見守りネットワーク構築方法を検討する。				
	R1	イ～ナ介護なんでも相談所による認知症見守りネットワークの構築				
	R2	登録事業所による、認知症見守りネットワークの稼働				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		31か所	32か所	35か所	35か所	35か所
年度末現状値		33か所	33か所	35か所	35か所	
* 年度末現状値の補足		新規の設置施設はないが、見守りネットワーク構築に向けて取り組みを開始した。				
		福祉相談課・相談支援係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

17

施策の柱		2 男女共同参画社会の土台づくり				
推進項目		②男女共同参画推進に向けた教育・学習の充実				
活動指標		保育士の男女共同参画に関する研修受講回数				
現状 (H29.3.31現在)	1回	目標値(R3年度)	1回			
* 現状値の補足 男女共同参画推進に向けた教育・学習の充実						
取組内容		男性保育士の増加、父親参加の育児等に係る意識改革の推進				
年度別計画	H29	男女共同参画と協賛した保育士の人的環境の研修				
	H30	在園児と父親を含む保護者を対象とした親子コミュニケーションに係る講演会開催(男性保育士参加)				
	R1	在園児と父親を含む保護者を対象とした親子コミュニケーションに係る講演会開催(男性保育士参加)				
	R2	在園児と父親を含む保護者を対象とした親子コミュニケーションに係る講演会開催(男性保育士参加)				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		1回	1回	1回	1回	1回
年度末現状値		1回	1回	1回	1回	
* 年度末現状値の補足		コロナ禍によりオンラインで実施 男性保育士12名 親子47組94名参加				
		子育て支援課・保育係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

18

施策の柱		2 男女共同参画社会の土台づくり				
推進項目		②男女共同参画推進に向けた教育・学習の充実				
活動指標		将来地元に戻ってきたいと希望する中学生の割合				
現状 (H29.3.31現在)	新規設定	目標値(R3年度)	56%			
* 現状値の補足 ①職場体験学習実施予定生徒数 701名 ②キャリアフェス参加予定生徒数 480名						
取組内容		職場体験学習、キャリアフェス等、キャリア教育事業実施後のアンケート項目に[将来地元に戻りたいかどうか]の項目を設け、市内全中学校事業実施生徒の地元への想いを把握し、将来地元に戻ってきたいと思える子どもたちを育てる施策に活かす。				
年度別計画	H29	職場体験学習、キャリアフェス等、キャリア教育事業実施後のアンケート項目に[将来地元に戻りたいかどうか]の項目を設けてアンケートを実施する。				
	H30	職場体験学習やキャリアフェス等のキャリア教育事業を通じて、生徒はもとより大人にとっても地元で働くこと、郷土に対する思いを改めて感じてもらう機会とする。				
	R1	職場体験学習やキャリアフェス等のキャリア教育事業を通じて、生徒はもとより大人にとっても地元で働くこと、郷土に対する思いを改めて感じてもらう機会とする。				
	R2	職場体験学習やキャリアフェス等のキャリア教育事業を通じて、生徒はもとより大人にとっても地元で働くこと、郷土に対する思いを改めて感じてもらう機会とする。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		40%	75% 45%	78% 50%	82% 53%	85% 56%
年度末現状値		75%	-	-	-	
* 年度末現状値の補足		R2 ①職場体験実施生徒数 315人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、2校で取りやめ、代替え授業の実施や総合的な活動の時間の内容を充実して対応した。 ②中学生キャリアフェス参加生徒数 661人 ※今年度もアンケート項目に「将来地元へ帰りたいか」は設けていない。キャリアフェスに参加した子どもたちの感想の中に、「伊那に戻るのもいいと思った」「伊那にいたいという気持ちがさらに強くなった」「生き方の幅が広がった」という言葉が多く見られた。 ※キャリア教育は即結果が出るものではないため、本活動指標の目標値設定は困難と考える。				
		学校教育課・学務係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

19

施策の柱		2 男女共同参画社会の土台づくり				
推進項目		②男女共同参画推進に向けた教育・学習の充実				
活動指標		男女共同参画に関する講演会(伊那市民のつどい)への参加者数(再掲)				
現状 (H29.3.31現在)	102人	目標値(R3年度)	140人			
* 現状値の補足 平成28年度参加者数						
取組内容		・男女共同参画について考える場の1つとして、多くの市民の興味をひく「市民のつどい」を開催する。				
年度別計画	H29	・防災に注目した講演を開催する。				
	H30	・男性の育児・家事推進のための講演会を開催し、子育て世代の参加を見込む				
	R1	・認知症の患者を抱えた家族の内側を描いたドキュメンタリー映画を上映し、地域社会で暮らし続ける意義を男女共同参画の観点から考える機会となるよう多くの参加者を募る。				
	R2	・新型コロナウイルス感染防止から多くの人を集めるイベントの開催が計画出来ないため、市報やケーブルテレビ等を活用し男女共同参画を推進していく。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		140人	140人	140人	140人	140人
年度末現状値		90人	40人	120人	—	
* 年度末現状値の補足		令和2年度男女共同参画社会をめざす伊那市民のつどいは中止した。 男女共同参画の啓発は、市報、おでかけ講座等を利用した推進活動をおこなった。				
		企画政策課・人権男女共同参画係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

20

施策の柱		2 男女共同参画社会の土台づくり				
推進項目		③男性にとっての男女共同参画の推進				
活動指標		「イクボス・温かボス宣言」する市内企業・団体の数				
現状 (H29.3.31現在)	1団体	目標値(R3年度)	20団体			
* 現状値の補足 市内登録団体 市役所内1名						
取組内容		<p>・県が推進する「イクボス・温かボス宣言」をすることで、すべての人が意欲と能力を発揮し活躍できるよう、多様な働き方、多様なライフスタイルを尊重する職場環境づくりの推進に取り組む団体を増やす。</p>				
年度別計画	H29	・市が宣言をすることで、市内企業等の宣言を推進する。				
	H30	・市公式HPでの広報や、商工会議所等の協力を得て、市内企業の宣言を促進する。				
	R1	<p>・市公式HPでの広報や、商工会議所等の協力を得て、市内企業の宣言を促進する。 ・女性活躍推進のための管理職研修会を開催し、宣言を促進する。</p>				
	R2	・市公式HPでの広報や、商工会議所等の協力を得て、市内企業の宣言を促進する。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		3	8	13	18	20
年度末現状値		2	6	11	14	
* 年度末現状値の補足		金融機関、福祉施設、行政など				
		企画政策課・人権男女共同参画係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

21

施策の柱		2 男女共同参画社会の土台づくり				
推進項目		③男性にとっての男女共同参画の推進				
活動指標		両親学級への夫の参加率(実人員参加率)				
現状 (H29.3.31現在)	81.6%	目標値(R3年度)	90 80%			
* 現状値の補足 多くの夫が参加することで、男性の育児参加を促し、共同して子育てができる環境をつくる。						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦及びその夫や家族を対象に、両親学級(ハッピーバース講座)を開催する。 ・令和元年度から内容を見直し、3回を1クールとし10クール開催。夫も出席しやすいよう、育児編は土曜日開催とする。 ・母子手帳交付時(妊娠届け出時の妊婦相談時)に、受講に向けた案内をする。 				
年度別計画	H29	夫が参加しやすいよう、1クール中、育児編の2講座を土曜日開催とする。				
	H30	夫が参加しやすいよう、1クール中1講座に参加してもらえば良い内容に変更した上で土曜日開催とする。				
	R1	3回を1クールとし10クール開催。夫も出席しやすいよう、育児編は土曜日開催とする				
	R2	妊娠届け出時の妊婦相談の際に、受講に向けた案内を丁寧に行い、育児編への夫の参加を促す。(コロナのために4月、5月は中止としたが、以後の学級は予定通り開催。しかし夫の参加については②育児編のみとし、感染症予防に留意し実施する)				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		82%	82%	80%	—80% 89%	—80% 90% ⇒91%
年度末現状値		81.1% 82.7%	88.7%	88%— 87.7%	90.80%	
* 年度末現状値の補足		初産婦の夫の出席率—令和2年3月見込 育児編への夫の参加率 令和3年3月見込				
		健康推進課・保健係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

22

施策の柱		2 男女共同参画社会の土台づくり				
推進項目		③男性にとっての男女共同参画の推進				
活動指標		育児休業、介護休暇の利用しやすい環境づくりについて、企業への働きかけ(再掲)				
現状 (H29.3.31現在)	新規設定	目標値(R3年度)	130社			
* 現状値の補足 新規設定(現状値なし)						
取組内容		市内企業の訪問により、育児休業、介護休暇への理解など「働き続けやすい」職場環境の整備について、働きかけを行う。				
年度別計画	H29	企業訪問の実施(143社)				
	H30	企業訪問の実施(136社)				
	R1	企業訪問の実施(142社)				
	R2	新型コロナウイルス感染防止のためパンフレット等配布の実施(239社)				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		130社	130社	130社	130社	130社
年度末現状値		143社	136社	142社	239社	
* 年度末現状値の補足		R2市内事業所 パンフレット等配付件数 企業訪問を予定していた企業以外にも広く配布した。				
		商工振興課・商業労政係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

23

施策の柱		3 安心・安全の暮らしの実現				
推進項目		①男女共同参画の視点に立った防災体制づくり				
活動指標		防災会議の女性委員の割合				
現状 (H29.3.31現在)	5.7%	目標値(R3年度)			30%	
* 現状値の補足 女性委員3名／委員総数35名						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・女性の視点を防災対策に取り入れられるよう委員会の体制や委員構成の見直しを行うよう働きかける。 ・地域自主防災組織や防災士等からの女性委員選出を促がす。 				
年度別計画	H29	・選出団体に女性委員選出を働きかける。				
	H30	・選出団体に女性委員選出を働きかける。				
	R1	・選出団体に女性委員選出を働きかける。				
	R2	・選出団体に女性委員選出を働きかける。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		8.0%	14.0%	20.0%	25.0%	30.0%
年度末現状値		8.6%	11.4%	11.4%	11.4%	
* 年度末現状値の補足		女性委員4名／委員総数35名(予定)				
		危機管理課・防災係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

24

施策の柱		3 安心・安全の暮らしの実現				
推進項目		①男女共同参画の視点に立った防災体制づくり				
活動指標		女性防災士の数				
現状 (H29.3.31現在)	7名	目標値(R3年度)	13名			
* 現状値の補足 女性防災士の数 7名／全体防災士の数 42名						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・女性の視点を防災対策に取り入れられるよう資格取得を推奨する。 ・地域自主防災組織や自治会への防災士制度のPR。 				
年度別計画	H29	・年40回を超える「防災おでかけ講座」等で周知PRを行う。				
	H30	<ul style="list-style-type: none"> ・年40回を超える「防災おでかけ講座」等で周知PRを行う。 ・伊那市防災アドバイザー連絡会等で周知PRを行う。 				
	R1	<ul style="list-style-type: none"> ・年40回を超える「防災おでかけ講座」等で周知PRを行う。 ・伊那市防災アドバイザー連絡会等で周知PRを行う。 				
	R2	・伊那市自主防災組織連絡会等で周知PRを行う。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		8名	9名	10名	11名	13名
年度末現状値		7名	8名	8名	8名	
* 年度末現状値の補足		女性防災士の数 8名／全体防災士の数 44名				
		危機管理課・防災係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

25

施策の柱		3 安心・安全の暮らしの実現				
推進項目		①男女共同参画の視点に立った防災体制づくり				
活動指標		防災に関する講座の女性参加者割合				
現状 (H29.3.31現在)	新規設定	目標値(R3年度)	40%			
* 現状値の補足						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・女性の視点を防災対策に取り入れられるよう防災講座等への出席を働きかける。 ・女性講師の講演を企画するなど、女性の活躍をPRする。 				
年度別計画	H29	・7月に女性講師による防災講演会を企画。				
	H30	・地域で行う防災研修会等への参加呼び掛け。				
	R1	・地区で行う防災研修会等への参加を地区女性部等へも行う				
	R2	・防災研修会等への参加を呼びかけ。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		6%	12 34%	18 36%	24 38%	30 40%
年度末現状値		32.8%	34.8%	38.3%	42.4%	
* 年度末現状値の補足		防災おでかけ講座:女性参加者914名/全体参加者2,155名				
		危機管理課・防災係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

26

施策の柱		3 安心・安全の暮らしの実現				
推進項目		②困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備				
活動指標		ひとり親家庭等自立支援事業利用者数				
現状 (H29.3.31現在)	6人	目標値(R3年度)	6人			
* 現状値の補足 10年間の利用者の年度ごとの平均人数が6人である。						
取組内容		やる気のあるひとり親家庭の親のための制度であることを踏まえ、自ら学び就業に繋げようという気持ちのある人へは、きちんと伝えられるようタイミングよく制度説明をしていく。途切れることなく利用者がある状態を維持し、着実な自立へ導く事業としていく。				
年度別計画	H29	児童扶養手当現況届時に、案内チラシを配布				
	H30	児童扶養手当現況届時に、案内チラシを配布。個別相談の中で案内。				
	R1	児童扶養手当現況届時に、案内チラシを配布。個別相談の中で案内。				
	R2	児童扶養手当現況届時に、案内チラシを配布。個別相談の中で案内。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		6人	6人	6人	6人	6人
年度末現状値		5人	8人	2人	5人	
* 年度末現状値の補足		高等職業訓練促進費3人、自立支援教育訓練給付金2人				
		子育て支援課・子育て支援係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

27

施策の柱		3 安心・安全の暮らしの実現				
推進項目		②困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備				
活動指標		市内企業の正規雇用率				
現状 (H29.3.31現在)	63.2% (H26経済センサス)	目標値(R3年度)		70%		
* 現状値の補足 市内民営事業所の従業者のうち、正社員・正職員の数(H26経済センサスより) 従業者数(常用雇用者)23,548人／従業者数(正社員・正職員)14,880人						
取組内容		市内企業の訪問により、正規雇用の状況を把握し、安定した雇用確保について協力を求めるほか、正規雇用を支援するための助成制度について周知を行う。				
年度別計画	H29	企業訪問の実施(143社)				
	H30	企業訪問の実施(136社)				
	R1	企業訪問の実施(142社)				
	R2	新型コロナウイルス感染防止により、アンケート、助成制度のパンフレット配布(239社)				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		65%	67%	68%	69%	70%
年度末現状値		61.7%	61.7%	61.7%	61.7%	
* 年度末現状値の補足		従業者数(常用雇用者)23,157人／従業者数(正社員・正職員)14,289人 (H28経済センサスの結果より)				
		商工振興課・商業労政係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

28

施策の柱		3 安心・安全の暮らしの実現				
推進項目		②困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備				
活動指標		福祉サービス等利用計画の作成率				
現状 (H29.3.31現在)	100.0%	目標値(R3年度)	100%			
* 現状値の補足 福祉サービス等利用計画作成率100%/福祉サービス申請者数 744人						
取組内容		・障害を持つ人が地域のなかで安心して暮らせるよう、個々の障害の状態や生活形態等を把握し、計画相談支援員と連携を取りながら、実情に沿った福祉サービスを提供するための福祉サービス等利用計画を作成する。				
年度別計画	H29	計画相談支援員と連携を密にし、個々の実情に沿った福祉サービスを提供できるようサービス等利用計画を作成する。				
	H30	計画相談支援員と連携を密にし、個々の実情に沿った福祉サービスを提供できるようサービス等利用計画を作成する。				
	R1	計画相談支援員と連携を密にし、個々の実情に沿った福祉サービスを提供できるようサービス等利用計画を作成する。				
	R2	計画相談支援員と連携を密にし、個々の実情に沿った福祉サービスを提供できるようサービス等利用計画を作成する。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		100%	100%	100%	100%	100%
年度末現状値		100%	100%	100%	100%	
* 年度末現状値の補足		障害福祉サービス等受給者数(計画作成済)609人、障害児通所支援受給者数(計画作成済)206人 ※数値はR1年度				
		社会福祉課・障害者係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

29

施策の柱		3 安心・安全の暮らしの実現				
推進項目		②困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備				
活動指標		認知症サポーター登録数				
現状 (H29.3.31現在)	5,780人	目標値(R3年度)	6,900人			
* 現状値の補足 H19年から認知症サポーター養成講座(認知症キャラバン・メイトが講師を務める)の開催を支援し、H19年からH28年度までの講座受講者を計上。						
取組内容		認知症の方やその家族を支援する「応援者」を増やすため、認知症について正しく理解し、偏見を持たずに接してもらえるように講座の開催を支援する。				
年度別計画	H29	民生委員、保健委員などの団体へ講座の呼びかけを行う				
	H30	老若男女を問わず認知症について正しく理解をしてもらえるように市内の小中学校で講座の開催が可能か検討する。				
	R1	認知症サポーター養成講座受講者がボランティア活動に参加できるような仕組みづくりを行う。				
	R2	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、認知症サポーター養成講座の開催は難しい。ケーブルTV等の媒体を活用し認知症へ理解を普及したい。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		6,080人	6,500人 6,200人	6,600人	6,800人	6,900人
年度末現状値		6,125人	6,537	6,752人	6,915人	
* 年度末現状値の補足		平成19年度からの累計数				
		福祉相談課・相談支援係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

30

施策の柱		3 安心・安全の暮らしの実現				
推進項目		③あらゆる暴力の根絶				
活動指標		女性相談員等のDV研修等受講回数				
現状 (H29.3.31現在)	7回	目標値(R3年度)	10回			
* 現状値の補足 長野県開催研修参加回数						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・被害者の相談に的確に対応できるよう、様々なケースでの支援の方法を学ぶため、研修に参加する。 ・各機関との連携体制を常日頃から確認する。 				
年度別計画	H29	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県男女共同参画センターの研修に参加する。 ・関係者会議に参加し、連携体制を確認する。 				
	H30	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県男女共同参画センターの研修に参加する。 ・関係者会議に参加し、連携体制を確認する。 				
	R1	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県男女共同参画センターの研修に参加する。 ・関係者会議に参加し、連携体制を確認する。 				
	R2	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県男女共同参画センターの研修に参加する。 ・関係者会議に参加し、連携体制を確認する。 				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		7回	7回	8回	9回	10回
年度末現状値		7回	8回	8回	2回	
* 年度末現状値の補足		例年開催されている女性相談担当者支援研修、DV担当者会議などが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったが、オンライン等による研修会へ参加した。				
		企画政策課・人権男女共同参画係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

31

施策の柱		3 安心・安全の暮らしの実現				
推進項目		③あらゆる暴力の根絶				
活動指標		DVや虐待について、市に相談する窓口があることを知っている人の割合				
現状 (H29.3.31現在)	新規設定	目標値(R3年度)	80%			
* 現状値の補足						
取組内容		・安心して相談できる窓口があることを周知し、相談しやすくすることでDVや虐待の早期発見、早期対応につなげる。				
年度別計画	H29	男女共同参画週間にあわせて、広報活動を行なう。				
	H30	特に男女共同参画週間や女性に対する暴力をなくす運動期間中に広報する。				
	R1	男女共同参画週間や女性に対する暴力をなくす運動期間中に広報活動を行う。				
	R2	男女共同参画週間や女性に対する暴力をなくす運動期間中に広報活動を行う。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		50%	60%	70%	80%	80%
年度末現状値		41.7%	42.6%	41.7%	49.3%	
* 年度末現状値の補足		R2年度実施男女共同参画に関するアンケート 300名無作為抽出回答率47.3% ・知っている 70人(49.3%) ・知らない 65人(45.8%) ・無回答7人(4.9%) ※仮集計				
		企画政策課・人権男女共同参画係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

32

施策の柱		3 安心・安全の暮らしの実現				
推進項目		④生涯を通じた男女の健康支援				
活動指標		がん検診受診率				
現状 (H29.3.31現在)	乳がん検診40.1% 子宮がん検診 26.1%	目標値(R3年度)			乳がん検診50% 子宮がん検診30% 前立腺がん23%	
* 現状値の補足 女性に多い乳がん等、女性特有のがんの予防と早期発見・治療のための検診や健康教育の実施。						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・女性特有の乳がんマンモ検診、子宮がん検診及び男性特有の前立腺がん検診の受診希望とりまとめと検診の実施。(※前立腺がん検診は国の推奨する検診ではないが市独自で実施している) ・休日検診の実施。 ・無料券による受診の勧奨(対象:マンモ40歳、子宮20歳・35歳) ・3年間未受診者に対して、受診勧奨通知の送付。 ・保健委員や一般対象に、がん予防や検診についての健康教育実施及び、市報等を通じた早期発見のための検診受診についての啓発活動 				
年度別計画	H29	保健委員会総会でがん予防講演会の実施(6月)。3年間未受診者に対して受診勧奨の通知送付(5月)。他、上記取組実施。				
	H30	各地区保健員会で、がん検診の受診勧奨を依頼。3年間未受診者に対して受診勧奨通知送付(5月)。その他上記取組を実施。				
	R1	各地区保健員会でがん検診の受診勧奨を依頼。3年間未受診者と当年未受診者に受診勧奨を行う。				
	R2	子宮頸がん検診において満35歳を無料券対象とする。(これまでは満20歳のみ) 各種がん検診の効果的な受診年齢の検討を行う ・子宮頸がん検診は、医療機関での個別検診と集団地区(車)検診5日間を予定したが、コロナ対策として集団の密を避けるため、車検診は2日とし医療機関で個別検診を受けていただくよう変更した。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		乳:41% 子宮:27%	乳(マンモ): 44% 子宮:28%	乳(マンモ):46% 子宮:28% 前立腺:16%	乳(マンモ):48% 子宮:29% 前立腺:16%→ 22%	乳(マンモ):50% 子宮:30% 前立腺:20%→ 23%
年度末現状値		乳:38% 子宮:28%	乳(マンモ): 44.3% 子宮:27.8%	乳(マンモ):44.0% →37.0% 子宮:27.0%→ 24.7% 前立腺:16%→ 21.1%	乳がん(マンモ): 38% 子宮頸がん: 24% 前立腺:21%	
* 年度末現状値の補足		<p>令和3年3月末 【参考】令和元年度の以下がん検診受診率 (胃がん検診:10.3%、大腸がん検診:21.5%、乳がん超音波:17.5%、肺がん検診:24.8%) 【課題】国の目標は50%である。婦人特有がん検診は受診率増加傾向だが、他の検診の受診率は増加しない</p>				
		健康推進課・保健係				

第3次男女共同参画計画アクションプラン 個表

33

施策の柱		3 安心・安全の暮らしの実現				
推進項目		④生涯を通じた男女の健康支援				
活動指標		特定健診受診率・特定保健指導実施率				
現状 (H29.3.31現在)	受診率 51% 実施率 84%	目標値(R3年度)		受診率 60%	実施率 90%	
* 現状値の補足 生活習慣病予防や糖尿病重症化予防対策をすすめ、健康的な生活が送られるよう、特定健診受診率や、特定保健指導実施率の向上を図る。						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診がしやすいよう、土日健診、夕方健診の実施。 ・受診未希望者や3年間未受診者に対して、受診勧奨通知の送付。 ・保健委員や一般対象に、特定健診や循環器健診、生活習慣病予防について健康教育を実施し、早期発見のための健診受診について啓発 				
年度別計画	H29	取組内容のとおり				
	H30	取組内容のとおり				
	R1	取組内容の他に新たに、医療機関において、特定健診の必須項目を満たす場合は、データの交換で健診を受けたとみなすことができる「みなし健診」を実施する。				
	R2	取組内容の他に、みなし健診を継続するとともに、過去3年間未受診者への受診勧奨を行う。 ・コロナ対応として、個別検診開始時期を1か月先延ばし(6月実施を7月実施へ) ・特定健診時当日は、職員が1名出向き、体温測定や密にならないように誘導するなどの対応をとり、安全に実施する。				
	R3					
		H29	H30	R1	R2	R3
年度別目標値		受診率 54% 実施率 84%	受診率 55% 90 実施率 84%	受診率 56% 90 実施率 85%	受診率 58% 90 実施率 85%	受診率 60% 90 実施率 85%
年度末現状値		52 受診率 50% 90 実施率 80%	受診率 53.5% 実施率 81.8%	受診率 54% 55.4% 実施率 82% 86.4%	受診率 55.4% 実施率 86.4%	
* 年度末現状値の補足		令和3年3月末見込 (数値の確定は、令和3年10月末)				
		健康推進課・保健係				